

市町村の胃・大腸がん検診 腹部超音波及び肝炎ウイルス検査の状況

山梨県 健康増進課がん対策推進担当

プロセス指標とは

市町村の行うがん検診の各プロセス（対象者への受診勧奨、スクリーニング、要精検者への精密検査受診勧奨、精密検査の精度、事業評価）が適切に行われているか評価するための指標。

詳細なプロセス指標については、参考資料2に掲載しています。

1 胃がん検診 プロセス指標の状況

1 受診率(エックス線＋内視鏡)

- ・ 受診率は、全国平均より高く推移している。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い一時減少したが、R元年度の水準まで回復している。

2 精検受診率等(エックス線)

【要精検率】

- ・ R2年度に許容値を超えたものの、概ね許容値を下回っている。

【精検受診率・未受診率・未把握率】

- ・ 精検受診率・未受診率ともに県目標値には達しないものの許容値を超えている。
- ・ 未把握率については許容値を超えている。

【がん発見率・陽性反応適中度】

- ・ 許容値より低い、未把握率が許容値の範囲外であるため、正確な評価が不能。

<胃がんエックス線検診 各プロセス指標値の年度推移（国と県の比較）>

（許容値の範囲外は赤字）
（網掛けは県の調査による速報値）

県目標値 許容値		60.0		11.0 以下		90.0 以上 70.0 以上		5.0 以下 20.0 以下		5.0 以下 10.0 以下		0.11 以上		1.0 以上	
	受診率※1(%)		受診者数	要精検率(%)		精検受診率(%)		未受診率(%)		未把握率(%)		がん発見率(%)		陽性反応適中度(%)	
	国	県	県	国	県	国	県	国	県	国	県	国	県	国	県
R1	7.8	11.4	19,179	6.9	10.8	80.8	79.9	7.5	9.8	11.7	10.3	0.11	0.08	1.6	0.8
R2	7.0	10.2	14,165	6.5	11.3	81.2	78.9	8.0	10.5	10.8	10.6	0.11	0.07	1.6	0.7
R3	6.5	11.2	20,397	6.1	10.2	80.7	80.9	8.0	8.5	11.3	10.6	0.10	0.08	1.7	0.8
R4	6.9	10.5	18,027		8.7		78.3		10.3		11.4		0.12		1.4
R5		11.9	16,425												

※1 受診率はエックス線と内視鏡検査の合計値であり、計数が不詳の市町村を除いた値。

1 胃がん検診 プロセス指標の状況（続き）

3 精検受診率等（内視鏡）

【要精検率】

- ・前年度の全国値より低いですが、国において許容値が作成されていないため正確な評価が不能。

【精検受診率・未受診率・未把握率】

- ・精検受診率が県目標値には達していない。
- ・未受診率・未把握率は改善傾向にあるが、未だ目標値に達していない。

【がん発見率・陽性反応適中度】

- ・前年度の全国値より低いですが、国において許容値が作成されていないため正確な評価が不能。

<胃がん内視鏡検診 各プロセス指標値の年度推移（国と県の比較）>

（許容値の範囲外は赤字）
（網掛けは県の調査による速報値）

県目標値
許容値

90.0 以上

5.0 以下

5.0 以下

胃内視鏡検診の許容値は、現時点で作成されていない。

	要精検率(%)		精検受診率(%)		未受診率(%)		未把握率(%)		がん発見率(%)		陽性反応適中度(%)	
	国	県	国	県	国	県	国	県	国	県	国	県
R1	7.4	2.4	93.9	60.7	1.5	7.7	4.6	31.6	0.29	0.06	3.9	2.6
R2	7.1	3.1	92.8	72.9	1.4	5.0	5.8	22.1	0.29	0.19	4.1	6.2
R3	6.7	2.1	93.1	48.3	1.7	8.7	5.2	43.0	0.26	0.13	3.9	6.0
R4		1.4		73.5		6.2		20.4		0.06		4.3

2 大腸がん検診 プロセス指標の状況

1 受診率・受診者数

- ・ 全国平均より高く推移している。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い大きく減少したR2年度と比較して増加しているものの、近年は減少傾向。

2 精検受診率等

【要精検率】

- ・ 許容値を下回っており、全国平均より低い。

【精検受診率・未受診率・未把握率】

- ・ 未受診率は県目標値には達しないものの許容値の範囲内。
- ・ 精検受診率・未把握率については許容値を超えている。

【がん発見率・陽性反応適中度】

- ・ 精検未把握率が許容値の範囲外であるため正確な評価が不能。

<大腸がん検診 各プロセス指標値の年度推移（国と県の比較）>

（許容値の範囲外は赤字）
（網掛けは県の調査による速報値）

県目標値 許容値	60.0 以上			7.0 以下		90.0 以上 70.0 以上		5.0 以下 20.0 以下		5.0 以下 10.0 以下		0.13 以上		1.9 以上	
	受診率(%)		受診者数	要精検率(%)		精検受診率(%)		未受診率(%)		未把握率(%)		がん発見率(%)		陽性反応適中度(%)	
	国	県	県	国	県	国	県	国	県	国	県	国	県	国	県
R1	7.7	14.3	48,660	6.5	6.1	71.1	68.8	12.1	13.8	16.8	17.4	0.20	0.13	3.1	2.1
R2	6.5	11.7	39,017	6.6	5.9	71.4	65.4	12.7	12.5	16.0	22.1	0.20	0.10	3.0	1.6
R3	7.0	13.3	44,084	6.0	5.8	71.3	70.2	13.1	11.7	15.6	18.1	0.19	0.15	3.3	2.6
R4	6.9	13.1	43,030		5.6		68.8		12.4		18.8		0.16		2.8
R5		12.8	41,112												

3 腹部超音波及び肝炎ウイルス検査 プロセス指標の状況

本県においては、肝がんによる死亡率が高く肝炎対策が独自課題となっているため、国の指針外の検診ではあるが、その動向について調査を行っている。

1 受診率

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で減少したR2年度から回復しているが、R元年度には及ばない。

2 精検受診率等

【要精検率】

- ・過去4年間でみて、ほぼ横ばい。

【精検受診率・未受診率・未把握率】

- ・精検受診率はR2年度に減少したものの、その後改善傾向である。

【がん発見率】

- ・過去4年間でみて、ほぼ横ばい。

【陽性反応適中度】

- ・過去4年間でみて、低下傾向だが精検受診率が低いため正確な評価が不能。

< 腹部超音波及び肝炎ウイルス検査 各プロセス指標値の年度推移(県) >

	受診率(%)	受診者数	要精検率(%)	精検受診率(%)	未受診率(%)	未把握率(%)	がん発見率(%)	陽性反応適中度(%)
R1	18.4	96,654	3.5	74.7	5.9	19.4	0.02	0.6
R2	16.0	83,612	3.4	70.7	4.4	24.9	0.02	0.7
R3	17.4	91,240	3.4	74.5	8.5	16.9	0.02	0.5
R4	17.5	91,086	3.4	73.2	6.3	20.5	0.01	0.4